

オープンミーティング「NOSU・LAB」 かわら版 VOL.2

「NOSU・LAB」とは、地域に愛着を持つ市民が集まり、オープン＆フラットな環境でまちの魅力(づくり)について情報交換を行いながら、市民同士の交流を深める場で、毎月第一土曜日に開催します。地域を良くしたいという思いを持った市民同士がこのオープンミーティングを機会に”ゆるく”つながることで、それぞれの思いが化学反応を起こしながら、新たな「〇〇の巣」が生まれていくことを目指しています。

※「〇〇の巣」…市民がおすすりめしたくなる鴻巣の特徴や取組の総称。シティプロモーションの展開イメージ

第2回 2022年8月6日(土) 10:00~11:30 @ にこのす

第2回目は、参加申込のあった市民8名(にこのす6名、オンライン2名)により開催されました。また、今回からは、よりオープンな開催とするため、開催場所を1階カフェスペースへ移動しました。

今回のミーティングテーマは「鴻巣のフード」。参加者それぞれから「鴻巣の好きな食べ物・お店」を発表しました。イベントとして、「花のまち こうのす」にちなんで市内で生産されている“エディブルフラワー”の食べ比べを行い、食用のお花の味や特徴を楽しみました。

また、鴻巣市の特産品を掛け合わせた食べ物の一例として、にこのすで提供されている、産官学連携メニュー「もちぼこワッフルブーケ」を試食しました。

参加者の一人が「鴻巣のみやげ」にするべく企画している日本酒が話題の中心となり、ラベルのデザイン案への意見交換が行われ、「親子愛」を象徴するコウノトリのデザインにちなんで、安産祈願の御神酒としての販売ルートを確認してはどうかという提案がありました。また、鴻巣のみやげとして定着させるためには、一事業所の販促にとどまらず、市民からの共感と応援が必要であるとの意見から、投票形式による共感・応援体制の形成を実験的に行うことが提案されました。

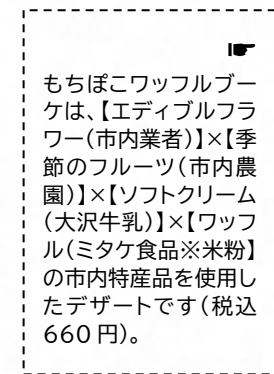
前回共有されたキーワード「寺・神社の活用」とリンクする場面もあり、共有された情報が新たなアイデアのきっかけになる兆しを感じることができました。

次回はミーティングテーマを「鴻巣のランドマーク」として、さらにまちの魅力(づくり)を深堀していきます。

第一回で共有されたキーワードの中には、免許センター、寺・神社、ほどよい田舎感、自然・公園等がありました。



1階カフェスペースで開催することで、飲み物を飲みながら、ゆったりとリラックスした状態で、情報交換することができ、“ゆるく”つながることを実現しました。



もちぼこワッフルブーケは、【エディブルフラワー(市内業者)】×【季節のフルーツ(市内農園)】×【ソフトクリーム(大沢牛乳)】×【ワッフル(ミタケ食品※米粉)】の市内特産品を使用したデザートです(税込660円)。

次回:9月3日(土)10:00~
「にこのす」1階カフェで開催